

放射光を利用する産学連携研究が 仙台市トライアルユースに5件採択

農学研究科ならびに放射光生命農学センターでは、フィージビリティスタディの一貫として「令和4年度仙台市既存放射光施設活用事例創出事業（トライアルユース事業）」への申請協力を進めてきたところ、下記の5件が採択となりました。

企業名	担当教員	測定対象	測定内容
株式会社 東北アグリサイエンス イノベーション	駒井三千夫 藤井智幸	液状食品 (お茶、醤油など)	小角X線散乱
会津天竺醸造株式会社 (福島県)	仲川清隆 戸部隆太	ニンニクの匂い (イオウ、セレン化合物)	XANES (蛍光X線)
福島県醤油醸造協同組合	五味勝也	麹、焙煎麦	X線位相造影CT X線CT 小角散乱イメージング
株式会社舞台ファーム	牧野知之	土、種子	SPring-8 BL14B2 X線CT
理研食品株式会社	中野俊樹	ワカメ	X線位相造影CT

採択一覧は仙台市HP参照

https://www.city.sendai.jp/renkesuishin/jigyosha/kezai/sangaku/housyakou_trial-use.html

今後も様々な課題を対象にフィージビリティスタディに挑戦し、農学研究科における放射光を活用した産学連携研究を進めていく予定です。各位のご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：A-Sync広報部門

a-sync-info (アット) grp.tohoku.ac.jp (アットを半角のアットマークに変更してください)